

ID No.	2077
研究課題名	ユビキチン結合酵素 UBE2N のシグナル基盤の解明
研究代表者	金 玫秀(京都大学・准教授)
研究組織 受入教員 研究分担者	武川 睦寛(東京大学医科学研究所・教授) 渡海 紀子(東京大学医科学研究所・技術専門職員)
研究報告書	<p>申請者は、Ube2N/Ubc13（以下Ubc13）のノックアウト細胞に野生型(WT)または脱アミド化型Ubc13（Q100E変異体）を導入したMEF細胞を作製した。これらの細胞を用い、Ubc13が関与する様々な細胞応答(DNA障害反応やTNFα、IL1βシグナル)に対して、Ubc13の脱アミド化が与える影響を検討した。その結果、Ubc13の脱アミド化はIL1β依存的なシグナルを特異的に抑制することを見出した。</p> <p>TNFαやIL1βの刺激でUbc13と共役するユビキチンリガーゼを質量分析により、網羅的に同定する予定であり、現在、医科学研究所・疾患プロテオミクスラボラトリーと打ち合わせを行っている(新型コロナウイルスの影響で来所できなかつたので、解析を依頼している)。この解析も含め、Ubc13の脱アミド化によって影響を受けるシグナルの全容を明らかにしていきたい。</p>